

「折紙ロボット及び機械学習のための ラフ集合理論講演会」

日時: 3月2日(金) 14時～15時30分

場所: 明治大学中野キャンパス **6階603**

Rafael E. Bello Pérez, PhD

“Rough Set Theory
and its application to data analysis”

1958年生まれ、

1982年 Las Villas中央大学 (UCLV, Cuba)卒、1987年UCLVの数学の博士号取得

UCLVの計算科学部の正教授、情報処理学センターの所長、

2002年以降、UCLVの計算科学博士プログラムの責任者、

2008年以降、ベルギー、スペイン、ラテンアメリカ国との協働による計算科学、学術連携に関する複数の博士プログラムのキューバ側責任者、

UCLV の数理物理計算機部の前学部長(1992-1999)、

UCLVの前副学長 (2000-2006)、2002年以降、キューバ科学アカデミー、2004年

以降、人工知能アメリカ連合、2011年以降、国際ラフ集合会の各メンバー

複数のラテンアメリカの大学で30以上の学部のコースを受け持ち、ラテンアメリカ、スペインで博士学生を含め60人以上の学生を持つ。

225 の論文があり国内外で、多くの受賞がある。

メタ戦略、ソフトコンピューティング、機械学習、ラフ集合理論、意思決定論(ファジィ認知マップ)に興味を持つ。

世話人: TEL 03(5343)8377

萩原一郎 ihagi@meiji.ac.jp